

文部科学省委託事業：体験活動地域プラットフォーム形成支援事業



日土ふれあい自然塾Ⅱ！



～花炭作りをしよう～

体験活動地域プラットフォーム形成支援事業とは？

「体験活動地域プラットフォーム形成支援事業」は、子どもたちの体験活動を通して、地域の子どもや大人が豊かに交流しながら、地域での持続可能な体験活動の仕組みをつくります。また、自然と楽しく触れ合いながら、地域の自然や文化をより深く理解し、地域に愛着をもつ子どもを育てることをねらいとしています。

夏に続き2回目となる今回は、炭ができるまでの学習と身近なものを使った花炭作りを行いました。

- 【主催】 愛媛県教育委員会 体験活動地域プラットフォーム形成支援事業実行委員会
 実行委員：日土地区公民館長、日土東地区公民館長、日土地区公民館主事
 日土東地区公民館主事、日土東地区公民館青少年育成部長
 日土小学校長、日土小学校教頭、日土小学校PTA会長
 日土町振興協議会長、日土町振興協議会青年部長、日土町青年団長
 青藪木炭クラブ、日土東地区地域おこし協力隊
 南予教育事務所社会教育課長、南予教育事務所社会教育主事
- 【共催】 八幡浜市 八幡浜市教育委員会 日土地区公民館 日土東地区公民館
- 【開催期日】 平成30年2月18日（日）
- 【会場】 JA日土倉庫
- 【講師】 青藪木炭クラブ 代表 助田 勝次 氏
 地域おこし協力隊 大西 千晶 氏
 青藪木炭クラブ 入口 厚作 氏
- 【参加者】 日土小学校の1～6年生児童24名
 保護者5名
 実行委員15名 講師3名



日土小学校児童の参加希望者24名を含む総勢47名が集まりました。まず、青藪木炭クラブの入口厚作さんに野地の炭窯、炭ができるまでの説明をやさしい語り口調で話していただきました。この後、炭窯での作業の様子のDVDを観ました。楽しそうな作業風景に今日の活動への期待が高まります。



地域おこし協力隊の大西千晶さんからは花炭作りについて、分かりやすく説明をしていただきました。左のような作品ができる予定?です。

今回は、「まき」を熱源とした自然物の花炭作りと「ガス」を熱源とした折り紙の花炭作りの2つの方法を体験しました。



<まきで>

大きめの缶に、松ぼっくり、栗、家から持ってきた炭にしたい物などを入れます。約60分で完成します。

<ガスで>

缶に、折り紙で作った手裏剣や鶴などを入れ、ガスコンロの火にかけます。約2分で完成するので、何度でも挑戦できます。



炭を使ったバーベキューは最高においしかったです。地域の大人と子どもの交流も深まりました。

日土町のみなさん、体験活動への参加・ご協力ありがとうございました。お陰様で有意義な体験活動の企画・運営をすることができました。日土地域の温かさ、結束を強く感じた体験活動となりました。本当にありがとうございました。

